



Release Identification: LTC6081

2007.09.25

リニアテクノロジー、新製品「LTC6081/6082」を販売開始

1pA のバイアス電流と低ノイズを特長とする、サブマイクロボルト・ドリフト 3.5MHz CMOS アンプ

2007 年 9 月 25 日 - リニアテクノロジーは、 -40° C~ $+125^{\circ}$ Cの温度範囲で 3.5MHz の利得帯域幅と 90μ V を下回るオフセットを達成することによって精度の限界を広げる、CMOS オペアンプ「LTC6081/LTC6082」の販売を開始しました。 デュアルアンプ LTC6081 は 8 ピン MSOP パッケージと 3mm×3mm の小型 10 ピン DFN パッケージ、クワッドアンプ LTC6082 は 16 ピン SSOP パッケージと 5mm×3mm の 16 ピン DFN パッケージで供給されます。1,000 個時の参考単価は LTC6081 が 219 円 (税込み)から、LTC6082 が 374 円 (同)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。

デュアルアンプ LTC6081 とクワッドアンプ LTC6082 はレール・トゥ・レールの入出力段を備え、 25° Cでわずか $1.3\,\mu\,V_{P-P}$ の低い周波数ノイズと最大 1pA の低い入力バイアス電流を達成しているので、高精度計測に最適です。また、消費電流は $330\,\mu\,A$ /アンプであり、オプションのシャットダウン機能によって消費電流を $0.5\,\mu\,A$ /アンプに低減できるので、バッテリの電力をさらに節約します。また、これらのアンプは 3.5MHz の妥協のない利得帯域幅と $1V/\mu\,s$ のスルーレートを実現します。CMRR が 105dB、PSSR が 90dB で、120dB の大信号電圧利得によって利得直線性を保証します。

プロダクト・マーケティング・マネージャの Brian Black は、こうコメントしています。「LTC6081 および LTC6082 は、最高性能のバイポーラ・アンプに匹敵する DC 特性を実現すると同時に、ピコアンペア単位の入力バイアス電流を達成しています。このような高精度に優れた速度対電力比を組み合わせることにより、低消費電力計装システムの設計に新しい可能性をもたらします」

LTC6081 および LTC6082 の特長

● 最大オフセット電圧:70 µ V(25°C)

最大オフセットドリフト:0.8 µ V/℃

最大入力バイアス電流:1pA(25℃)、40pA(T_A≤85℃)

● 大信号電圧利得:120dB(標準)

● 利得帯域幅積:3.5MHz

● CMRR:100dB(最小)

● PSRR:98dB(最小)

0.1Hz~10Hz ノイズ: 1.3 μ V_{P-P}

- 消費電流:330 µ A
- レール・トゥ・レール入出力
- ユニティゲイン安定
- 2.7V~5.5V の動作電圧
- コマーシャル温度範囲、インダストリアル温度範囲、拡張(-40°C~+125°C)温度範囲で規定
- デュアル LTC6081:8 ピン MSOP および 10 ピン DFN10 パッケージ; クワッド LTC6082:16 ピン SSOP および DFN パッケージ

フォトキャプション: サブマイクロ・ドリフト、3.5MHz、CMOS アンプ

Copyright: 2007 Linear Technology

以上